

# ESGの取り組み | 環境変化に対応した経営基盤の強化

私たちの社会はより豊かに、そしてより便利に進化してきました。一方で、ライフスタイルの多様化や環境の変化により、様々な課題が表面化し、地球環境にも大きな影響が出始めています。

当社グループでは、自然の恵みに感謝し、限りある資源を大切にするという想いで、環境活動に長年取り組んできました。しかし近年、気候変動リスクや食品ロス、海洋プラスチック問題など地球規模での問題が次々に顕在化しています。企業単独での取り組みだけでなく、サプライチェーン上での連携を図り、パリ協定、SDGsなどの世界共通の目標の達成に貢献していきます。

また、これまで食の喜びや楽しさ、豊かで健康的な食生活をお届けしたいという想いのもと、様々な食シーンに合わせた食提案を行ってきました。今後ライフスタイルや価値観がさらに多様化していく中で、より一人ひとりの一生を通じた食に寄り添いながら、健康に暮らせる社会の実現に貢献していきます。

このように社会環境や市場がダイナミックに変化していく中で、ダイバーシティの推進に取り組み、理念に共感する多様な人材がいきいきと活躍することで、人も会社も成長していくグループになることをめざしています。

これからも、創始者・中島董一郎の「食を通じて社会に貢献する」という精神を引き継ぎ、ステークホルダーと連携して社会課題の解決に取り組み、「持続可能な社会の実現への貢献とグループの持続的成長」(サステナビリティ)の実現をめざします。



SDGs(Sustainable Development Goals)

## 社会変化にともなうリスクと機会

分野	社会変化	リスクと機会
市場	超高齢社会	平均寿命と健康寿命のギャップ 健康的な食生活への意識の高まり
社会	核家族や共働き、一人親家庭の増加 貧困・格差の拡大	孤食の増加、貧困の次世代への連鎖 食知識や体験への関心の高まり
環境	気候変動、パリ協定、TCFD勧告 自然災害、疫病発生が増大 農作物の質・収量の低下	気候変動への適応、脱炭素社会への移行 食資源の不足、食品ロス削減への関心の高まり 持続可能な食品生産の推進
労働	人口減少 情報技術の革新	労働力不足 働き方改革・活人化の推進・多様な人材の活躍

## サステナビリティ目標

～2030ビジョンの達成をめざして～

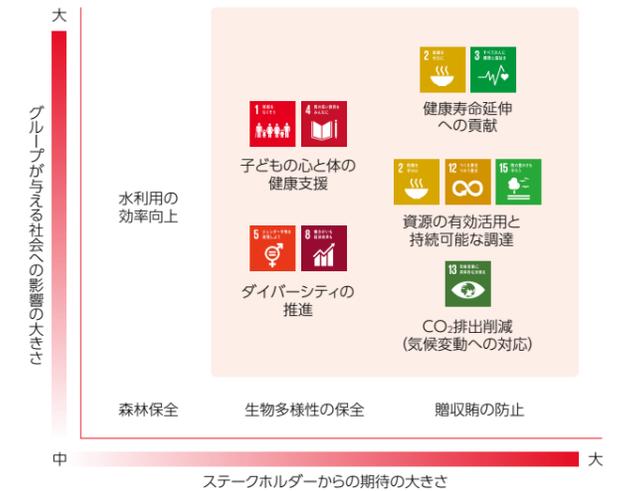
サステナビリティ目標は、社会と企業の持続的な成長に向け、当社グループとして取り組む内容を指標化したものです。5つのテーマに分かれており、それぞれ「サステナビリティに向けての重点課題」とひと付いています。

サステナビリティ目標達成への取り組みは、財務指標である業績目標と並行して進めていきます。それぞれの目標を両輪として達成することで、長期ビジョン「キューピーグループ 2030ビジョン」の実現につなげていきます。



## サステナビリティに向けての重点課題

サステナビリティの実現をめざして、当社グループが事業を通じて取り組むべき社会課題について、SDGsを参考にしながら、バリューチェーンにおけるリスクと機会を分析し、抽出しました。2018年には、それらの社会課題ごとに、ステークホルダーからの期待の大きさとグループが与える社会への影響の大きさを評価することで、グループが最優先で取り組むべき「サステナビリティに向けての重点課題」を特定しました。重要性の評価においては、サステナビリティの国際基準GRI、ISO26000、SASBおよび各種ESG評価などを参考とし、長期ビジョン「キューピーグループ 2030ビジョン」の考えを大きく反映しています。



重点課題	課題解決ストーリー	施策
健康寿命延伸への貢献	● サラダ(野菜)と卵の栄養機能で、生活習慣病予防や高齢者の低栄養状態を改善します	● サラダとタマゴでおいしくバランスのよい食生活提案 <span style="float: right;">P.24</span>
子どもの心と体の健康支援	● サラダ(野菜)と卵を活用した食育や共食の体験の場を提供します ● 子どもや子育て家族への食を通じた支援により、子どもと家族・社会とのコミュニケーションを応援します	● 各世代に寄り添う食育活動 ● キューピーみらいたまご財団 <span style="float: right;">P.25</span>
資源の有効活用と持続可能な調達	● 食資源を余すことなく有効活用し、食品廃棄を削減します ● 農業生産者との取り組みで、持続可能な農業を支援します	● 野菜未利用部の活用・卵殻の有効活用 ● 商品廃棄の削減 ● 持続可能な調達方針 <span style="float: right;">P.26</span>
CO2排出削減(気候変動への対応)	● 原料調達から商品の使用・廃棄まで、サプライチェーン全体を通じたCO2排出削減を実現します	● 省エネ・再生エネルギーの活用 ● 気候変動リスク分析 <span style="float: right;">P.27</span>
ダイバーシティの推進	● 新しい働き方を創出し、多様な人材が働きやすく成長できる環境をつくり、新たな社会価値を生み出します	● ダイバーシティ研修 ● 理念教育 ● 人材育成 <span style="float: right;">P.22</span>

## サステナビリティ推進体制

サステナビリティ担当取締役を委員長とするサステナビリティ委員会が、サステナビリティ目標の達成に向けた方針・計画策定および取り組みを推進しており、委員会を年2回開催していきます。

5つの重点課題それぞれの目標・取り組みについて分科会・連携プロジェクトで検討し、当社グループへの浸透と定着を図っています。

リスクマネジメント委員会と連携して、特定された主要リスクを重点課題に反映することで、環境変化に対応した経営基盤の強化の実現を推進しています。

